



ご紹介いただく際は、初診予約専用ダイヤルをご利用ください。  
一部診療科を除き、患者さんからもご予約をお取りいただけます。

TEL **048-946-2305** (直通) へお電話ください。

(連携室に直通ダイヤルはありません。予約専用ダイヤルは予約専門のオペレーターに  
繋がる番号ですので、予約以外のお電話はご遠慮ください。)

(月～金) 8:30～17:00 (土)12:00 ※第2・4・5土曜、祝祭日、年末年始は除く

※ 当日緊急受診のご相談は連携室看護師宛。  
休日・時間外は救急外来(どちらも代表番号048-946-2200)へご連絡ください。



草加市立病院



# 連携だより

2023臨時号

da Vinci Xi  
ロボット支援手術開始

◆草加西立病院 基本理念◆

草加市立病院は、市民のいのちと健康を守り、地域医療の中心を担うことを使命とします。

◆草加西立病院 基本方針◆

- ・ 地域中心医療の実現
- ・ 安全で質の高い医療の提供
- ・ 患者中心の医療の確立
- ・ 資金経営の確保

発行：草加市立病院 地域医療連携相談室

〒340-8560 草加市草加二丁目21番1号

TEL 048-946-2200(内) 内線1232～1235

FAX 048-946-2501

# 最新システムを導入



草加市立病院では、令和5年3月に米国Intuitive Surgical社製手術支援システム da Vinci Xiを導入いたしました。

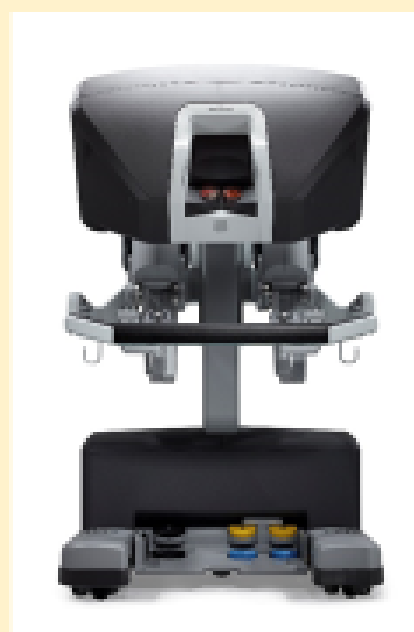
da Vinci Xiは第4世代となる最新鋭の機種で、システムは患者さんに接続する①ペイシェントカート、ペイシェントカートから送られてくる画像をハイビジョン3D画像にする②ビジョンカート、術者が操作する③サージョンコンソールの3つから構成されています。



①ペイシェントカート



②ビジョンカート



③サージョンコンソール

ペイシェントカートは人間の腕より多い4本のアームを有しますが、このアームが前世代機種より小さく細く進化したことによって、アーム同士の干渉を小さくし、手術部位への様々な角度からのアクセスを可能にしています。また、アームに取り付けられた多様なEndo Wristインストゥルメントは、人間の手と比べ、より器用に広い動作を可能にし、精緻な術中の縫合・切開・組織操作をサポートします。



ビジョンカートは、軽量小型でペイシェントカートの4本のアームのいずれとも接続できる3DHDエンドスコープから送られる画像を、複数のカラーモードで術野の鮮明度や色調を調整して、術者の求める明瞭な視野をサポートします。また、ビジョンカートのモニターには、手術中の画像が映し出され、手術スタッフにも画像を共有します。

さらに、da Vinci Xiは、Fireflyイメージングシステムを標準搭載しており、リアルタイムで近赤外線ならびに可視光による組織の評価

が可能です。

サージョンコンソールは、術者が座り操作しますが、インストゥルメントを自在に動かすことが出来るだけでなく、手ぶれを補正し、更に術者の手の動きをより小さな動作に変更することも出来、高い集中力を要する手術でも、正確な作業を可能としています。

## ●患者さんのお身体への負担軽減

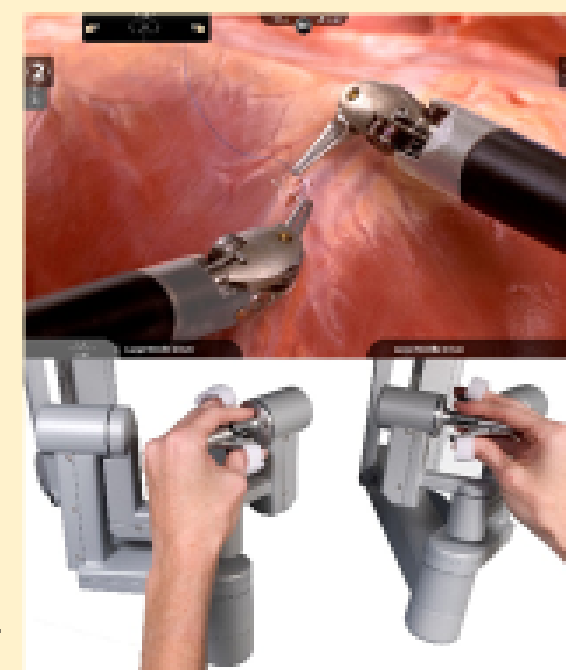
このロボット支援手術のメリットは、従来の開腹手術に比べ、**創部が小さく済むため、術中の出血を減らし、術後の疼痛も減らせる**ことで、患者さんの回復も早くなることが期待できます。

また、**創部の感染が少なく、合併症発生率も低い**傾向にあります。

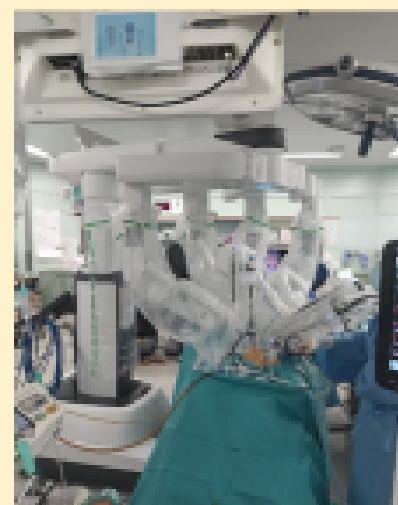
さらに、正確で緻密な動きと、最大15倍のズームによる視野の拡大により、細かい血管や神経を捉えることが出来、がん手術ではその**根治性を高め、機能の温存も可能**にします。

システムにはデメリットも当然あります。例として前立腺全摘出術では、術中患者さんは頭部を下げた姿勢となるため、脳腫瘍などの併存疾患があると、システム支援手術を受けることが出来ないなどの、対象の制限があります。

また、患者さんに触れる鉗子類には触覚がないため、術者は製造元であるIntuitive Surgical社の定めたトレーニングを積んだ認定医のみに限られており、操作できる人員の確保が必要です。



## ●外科及び泌尿器科で手術を開始



新年度から草加市立病院は、トレーニングを十分に積んだ認定医の着任と、提携する大学病院の技術支援を受け、外科及び泌尿器科においてシステムを使用した手術を開始いたしました。

始動初年度である今年度は、まずは外科においては大腸がん、泌尿器科においては前立腺がん手術を主に行ってまいります。

今後も安全に十分に配慮しつつ、患者さんの負担を軽減できる低侵襲手術の拡充を目指してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。